

2019 年度事業計画書

自 2019 年 4 月 1 日

至 2020 年 3 月 31 日

公益財団法人 日本音楽財団

1. 方針

「音楽に関する事業を通して、日本国内外の楽器貸与事業を通じた音楽文化の振興・普及」を公益目的事業として、以下の 4 つの柱を置いて事業を推進する。

- (1) 楽器の保全
- (2) 楽器の貸与
- (3) 演奏会の開催
- (4) 音楽文化振興・普及のための助成
- (5) その他

2. 事業計画

(1) 楽器の保全

①楽器の保守管理

当財団は、ストラディヴァリウス 19 挺、グァルネリ・デル・ジェス 2 挺、計 21 挺の弦楽器を保有しており、これらの世界の文化遺産ともいわれる弦楽器名器の保守保全については、次世代に継承する管理者の責務として、定期的な保守・保全に努める。

1) 楽器の定期点検

楽器を貸与する演奏家に当財団指定楽器商での年 4 回の定期保守を義務付け(うち 1 回は、当財団の楽器アドバイザーであるアンドリュー・ヒル(Andrew Hill、在英国)氏のコンディション・チェックとしている)、楽器商からの報告を受け、楽器の状態を把握し楽器の管理に努める。

2) ワシントン条約(CITES)適用除外証明書の携帯

ワシントン条約(CITES)の規制によりスムーズに通関ができないなどの事例があるため、全ての保有楽器に対して、当財団の指定楽器商であるヒエロニムス・ケストラー氏(Hieronymus Köstler、在ドイツ)が発行するワシントン条約(CITES)適用除外証明書を国外に出る演奏家に楽器と共に携帯させ対応する。

3) 大規模楽器修理への備え

保有する楽器は、製作後 300 年が経過し、大規模な修理が必要な楽器が出てきていることから、これに対応するために特定費用準備資金(大規模楽器修理)を引き続き積み立てる。

②楽器への保険の付保

貸与中の楽器の方が一の事故に備えて保有する 21 挺の弦楽器には、日本の保険会社に保険を付保し、保険料の全額を財団が負担する。

③ATA カルネ

楽器の通関手続きが滞りなく行われるように、楽器の被貸与者が楽器を海外に持ち出す際には必ず ATA カルネを携帯させる。

④保有楽器に関する故事来歴

昨年度は保有する全ての楽器の故事来歴などをまとめ、楽器の写真と共に当財団ホームページへ掲載したが、本年度はそれらを一冊の本にまとめる。

(2) 楽器の貸与

当財団は、国籍を問わず、原則として国際的な活躍を目指し将来性が見込まれる若手演奏家に、保有する弦楽器名器を無償で貸与する楽器の貸与事業を実施している。

楽器の貸与については、年間を通してホームページ等で応募方法を告知し、原則として毎年 3 月に貸与申請を受け付けている。楽器の被貸与者の選考は、欧、米、アジアの有識者で構成される諮問機関である楽器貸与委員会である楽器貸与委員会で毎年行っており、本年度は 6 月に京都で開催する。

楽器貸与委員会の審議対象外として、1997 年度から継続的にベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールのヴァイオリン部門優勝者に次のコンクール開催までの期間、ストラディヴァリウス 1708 年製ヴァイオリン「ハギンス:Huggins」を副賞として貸与している。2019 年は、同コンクールヴァイオリン部門開催の年であり、新たな優勝者に次のコンクール開催時までの約 4 年間、「ハギンス:Huggins」を貸与する。また、特別演奏会、CD レコーディング等、具体的な演奏活動の目的がある方への満 1 年以内の貸与も行う。

(3) 演奏会の開催

当財団楽器の被貸与者による演奏会を、次の2つの目的別に10公演の開催を予定する。

①演奏会の定期開催（8公演）

1) 浦安市との共同コンサート

2016 年 12 月に浦安市と締結した協定をもとに双方が保有する音楽資源を有効に活用し、2017 年度以降、演奏会を浦安市との共同事業として定期的に行っている。チケット売上の全てを「浦安市文化芸術振興基金」に積み立てる。この基金は浦安市における文化芸術振興に使われる。

名 称	セルゲイ・ハチャトゥリアン ヴァイオリンリサイタル
日 程	2019 年 4 月 20 日(土)14:00 開演
会 場	浦安音楽ホール(千葉県浦安市) (300 席)
主 催	浦安市、(公財)日本音楽財団
共 催	浦安音楽ホール
助 成	(公財)日本財団
出 演	Sergey Khachatryan Guarneri del Gesu 1740 Violin "Ysaye" 使用 Lusine Khachatryan ピアノ
チケット販売	市民先行販売 4,000 円 一般 5,000 円

2)-4) 小規模編成の「ストラディヴァリウス・コンサート」

4年に一度、保有楽器10挺以上による「ストラディヴァリウス・コンサート」(前回は2016年に開催)を日本で開催してきた。2020年に東京、大阪、福岡の3都市での開催を予定しているが、本年度は、その広報を兼ねての小規模編成の「ストラディヴァリウス・コンサート」を2020年開催予定地と同じ3都市で開催する。チケットの売上の全てを各開催地の団体等へ寄付することでその地域に貢献するとともに、各開催地におけるクラシック音楽の振興・普及を図る。

4年に一度の保有楽器10挺以上による「ストラディヴァリウス・コンサート」と小規模編成の「ストラディヴァリウス・コンサート」をシリーズ化させて定期開催することにより、当財団主催の「ストラディヴァリウス・コンサート」の周知を図り、その集客力を高めることを目標とする。

出 演	Veronika Eberle Benjamin Beilman 萩原 麻未	Stradivarius 1700 Violin “Dragonetti” 使用 Stradivarius 1709 Violin “Engleman” 使用 ピアノ
2) 日 程	2019年10月29日(火)19:00開演	
会 場	福岡・アクロス福岡シンフォニーホール (1867席)	
主 催	(公財)日本音楽財団 アクロス福岡、西日本新聞社	
助 成	(公財)日本財団	
協 力	SOS子どもの村 JAPAN、福岡市立こども病院	
チケット販売	A席5,000円、B席4,000円、C席3,000円	
寄付先	SOS子どもの村 JAPAN、福岡市立こども病院	
3) 日 程	2019年10月30日(水)19:00開演	
会 場	大阪・いずみホール (821席)	
主 催	(公財)日本音楽財団	
共 催	いずみホール[一般財団法人住友生命福祉文化財団]	
助 成	(公財)日本財団	
協 力	京都大学 iPS 細胞研究所	
チケット販売	A席5,000円、B席4,000円	
寄付先	京都大学 iPS 細胞研究所	
4) 日 程	2019年10月31日(木)19:00開演	
会 場	東京・サントリーホール ブルーローズ (384席)	
主 催	(公財)日本音楽財団、サントリーホール	
助 成	(公財)日本財団	
協 力	国立成育医療研究センターもみじの家	
チケット販売	5,000円	
寄付先	国立成育医療研究センターもみじの家	

5)-8)名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業(4公演)

名古屋フィルハーモニー交響楽団と当財団の共同コンサート事業として、2017年度より4公演程度、当財団の楽器の被貸与者がソリストとして出演するコンサートを実施してい

る。広報を効果的に行うため、楽器の被貸与者が出演するコンサートを毎年同時期に集中させ、集客の見込める定期公演に限定している。当財団の楽器の被貸与者及び同楽団のレベル向上にも資する他、地元で音楽を学ぶ学生を100名程度招待することで音楽界の将来の担い手の育成にも寄与する。

下記のとおり、日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズとして、4公演に当財団の楽器の被貸与者3名の出演協力をし、その費用を負担する。

5)、6) 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ7 「ロード・アイレスフォード」

日 程 2020年1月17日(金)18:45開演
2020年1月18日(土)16:00開演
会 場 愛知県芸術劇場コンサートホール (1800席)
主 催 名古屋フィルハーモニー交響楽団
特別協力 (公財)日本音楽財団
助 成 (公財)日本財団
指 揮 沼尻 竜典
出 演 Pablo Ferrández Stradivarius 1696 Cello “Lord Aylesford”使用

7) 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ8 「ムンツ」

豊田市コンサートホールシリーズ Vol.8
日 程 2020年2月1日(土)16:00開演
会 場 豊田市コンサートホール (1004席)
主 催 名古屋フィルハーモニー交響楽団
特別協力 (公財)日本音楽財団
助 成 (公財)日本財団
指 揮 大植 英次
出 演 Yuki Manuela Janke Stradivarius 1736 Violin “Muntz”使用
豊田市ジュニアオーケストラ

8) 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ9 「カンポセリーチェ」

平日午後のオーケストラ Vol.5
日 程 2020年3月4日(水)14:00開演
会 場 愛知県芸術劇場コンサートホール (1800席)
主 催 名古屋フィルハーモニー交響楽団
特別協力 (公財)日本音楽財団
助 成 (公財)日本財団
指 揮 Beatrice Venezi
出 演 Svetlin Roussev Stradivarius 1710 Violin “Camposelice”使用

②新しいファン層拡大を目的とする演奏会の開催 (2公演)

9)-10) 青少年のためのレクチャーコンサート

若い世代にクラシック音楽をより身近に感じてもらうきっかけ作りとして、2011年より学生

を地元のホールに招待し、演奏家によるトークを交えながらクラシック音楽の名曲に触れる機会を提供し、新しいファン層の拡大によるクラシック音楽の振興普及に努める。2016年からは、開催地の教育委員会の正規事業として開催している。本年度は以下の2公演を予定する。

- 9) 日程 2019年12月5日(木)
会場 北九州市立響ホール(福岡県北九州市) (720席)
主催 北九州市、(公財)北九州市芸術文化振興財団
(公財)日本音楽財団
共催 北九州市教育委員会
助成 (公財)日本財団
出演 Arabella Miho Steinbacher Stradivarius 1716 Violin “Booth” 使用
ピアニスト(調整中)
- 10) 日程 2020年2月5日(水)
会場 浦安文化会館小ホール(千葉県浦安市) (350席)
主催 浦安市、浦安市教育委員会、(公財)日本音楽財団
助成 (公財)日本財団
共催 浦安音楽ホール
出演 Arabella Miho Steinbacher Stradivarius 1716 Violin “Booth” 使用
ピアニスト(調整中)

(4) 音楽文化振興・普及のための助成

2019年度は、①都市圏において様々なセクター(行政、教育委員会、学校、メディア、民間企業やNPO等)が密に連携し、確固たる資金調達及び組織的集客モデルが確立されている事業、②若手弦楽器演奏家育成に寄与する事業、③前述2つを基軸とし、1)受益者、2)具体的な成果目標、3)革新性が明確な事業内容であること この3つを審査の視点として募集を行う。

助成事業の募集については、前年度中に当財団のホームページ上で公開する。また、事業の審査にあたっては、当財団の事業運営委員会で詳細を検討のうえ決定する。

助成対象事業数	10事業程度
助成事業実施期間	2019年4月から2020年3月まで

(5) その他(広報事業)

日本財団ビルの1Fロビーを使用してのランチコンサートを無料で開催し、音楽の振興・普及に努める。演奏は基本的に弦楽器を主とするが、分野を問わずより多くの若手演奏家に演奏機会を提供するとともに、来場者には広く音楽に触れる機会を提供する。

以上